



【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

長岡赤十字病院

長岡市千秋 2 丁目 297-1
 電話 0258-28-3600
 ホームページアドレス
<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

冬に多くなる目の症状

眼科部長 橋本 薫

冬になり、ずいぶん気温が下がってきました。寒くなると建物内では暖房を使うことが多くなり、屋内の空気はとても乾燥してきます。この季節になると目の乾きから生じる様々な症状を訴える人が特に多くなってきます。

目は涙腺という組織や瞼(まぶた)の分泌腺から涙液を分泌することで常に潤われています。しかし、コンタクトレンズの長期装用やアレルギー性結膜炎などによる慢性炎症、膠原病などの全身の病気や加齢によってその能力が低下することが知られています。一般的にドライアイとか乾き目と言われるものです。充血、かすみ目、異物感、目ヤニや疲れ目などの自覚症状が生じます。起床時や夕方になると症状が強くなることも特徴的です。目を保護する涙液が減ることで角膜や結膜に細かい傷ができるとゴロゴロしてきます。ついつい目をこすってしまいますが、そうすると更に大きな傷になってしまい、逆効果です。

ドライアイに対する治療は、濡れた洗濯物を干すことや加湿器を併用するなど室内の湿度を適度に調整し、更に暖房器からの風が直接目に当たらないように気を付けることが基本です。次に、市販されているドライアイ用の点眼薬を使うことも良いでしょう。また、

眼科から処方される人工涙液や角膜の傷を治す点眼薬が有効です。最近では、減ってしまった涙液の分泌量を増加させる点眼薬を使用することが主流となっています。そうした対策でも改善しない場合は、涙の排水路である涙点という目元にある小さな穴を涙点プラグや手術で塞いでしまう方法もあります。思い当たることがありましたら眼科受診をお勧めします。

見る、聞く、嗅ぐ、味わう。私たちは五感から世界を知ります。中でも目からの情報は全体の約80%を占めると言われています。目の健康は生きる上でとても大切なものなのです。最近、近隣の大きな病院の眼科が閉鎖になり、中越地区の眼科医療の将来が危惧されています。しかし、当院眼科はこれまで通り皆様の目の健康を守る努力を続けていきますのでご安心ください。例えば、白内障の手術は日帰りや入院でも随時受け付けています。最先端の硝子体手術や小児の斜視、弱視の治療も行っています。緑内障の診療や、加齢黄斑変性症に対する硝子体注射も行っています。私たちは様々な目の病気に対し、最新の医療技術を用いて診療を行っています。目に不安のある方は是非ご相談ください。

初診の方は、紹介状をお持ちくださいますようお願いいたします

当院では紹介患者さんの診療を優先しておこなっております。まずはかかりつけ医を受診していただき、かかりつけ医が必要と判断された場合には紹介状をご持参のうえ当院を受診していただきますようお願いいたします。

紹介状 の メリット

- 1 これまでの診療の経過を医師が正確に把握でき、スムーズに治療をすすめられます。
- 2 検査や投薬等の重複を避けることができます。
- 3 保険外併用療養費がかかりません。





地域の医療機関との連携をすすめています

地域医療支援病院

国は、質の高い効率的な医療を地域全体で行うことを目的に、医療機関の役割分担をすすめています。以前のように“最初から最期まで同じ病院で”ということではなく、それぞれの医療機関の特性を活かして役割を分担し、必要に応じて医療機関どうしが連携することによって地域全体がひとつの病院のように機能することを目指しています。

地域医療支援病院とは？

地域医療をつくるための中核的な役割を担う病院が「地域医療支援病院」で、当院は平成23年に新潟県知事より承認を受けました。現在新潟県内には当院を含む8つの地域医療支援病院があります。「地域医療支援病院」の承認には下記の要件を満たす必要があります。

地域医療支援病院の要件

- 1 紹介患者中心の医療を提供していること
- 2 救急医療を提供する能力を有すること
- 3 建物、設備、機器等を地域の医師等が利用できる体制を確保していること
- 4 地域医療従事者に対する研修を行っていること

長岡赤十字病院が担当する役割は？

地域医療連携の中で当院が担当しているのは“救急患者さんや専門的治療を必要とする患者さんの治療を主に行う病院”という役割です。

もしもみなさんが「風邪かな?」「ちょっと足が痛いな」など健康上の不安をお感じになったら、まずは身近な“かかりつけ医”を受診していただき、かかりつけ医による診断の結果、精密な検査や入院・手術などが必要な場合には「紹介状」を書いていただいたうえで、当院を受診くださいますようお願いいたします。また、症状が安定した患者さんにはお近くの連携医療機関やかかりつけ医へ「紹介状」をお書きし、しっかりとバトンをつないで切れ目のない医療の提供に努めます。

病気かな？

と思ったら
まずは身近な
かかりつけ医へ

かかりつけ医

主な役割

日常的な診療
健康相談
など
長期間の経過観察

連携

長岡赤十字病院

主な役割

救急患者の治療
など
専門的な治療・検査

当院は
急性期医療の
役割を
担っています



イベント情報

患者会からの
お知らせ



- 2月 3日(金) 14:00～ がん患者サロン 第51回「ほほえみサロン千秋」(フリートーク)
- 3月 3日(金) 14:00～ がん患者サロン 第52回「ほほえみサロン千秋」(フリートーク)
- 3月25日(土) 10:00～ 糖尿病ミニ勉強会 糖尿病の基本の「き」
- 4月15日(土) 10:00～ やよい会共催 乳がん市民公開講座

詳しくは院内掲示のポスターまたは当院ホームページのお知らせをご覧ください。

NHK海外たすけあい募金にご協力いただきまして
ありがとうございました。

いただいた寄付は、紛争や自然災害・飢餓・病気などで苦しんでいる世界の人々を救う、日本赤十字社海外活動に役立てられます。



駐車場を含めた
病院敷地内は
全面禁煙です。



ご理解とご協力をお願いします。